

分 譲地の契約と駅東側の進捗に期待
復興に向けた造成事業

大吹地区宅地分譲地は8区画中未契約2区画、広洋台空区画3区画中未契約2区画、苗代宅地造成分譲6区画中未契約4区画の2次・3次募集を行っているとの説明がありました。

駅前側地区開発は町・県間で広野駅東地区復旧・復興事業調整会議を設置し、7月28日から町・県合同の説明会を開催し用地交渉を開始し、9月22日合同調印式の予定との説明がありました。

会報告

委員

状況を報告します。

興に関する特別委員会委員長に
されました。

平成25年8月21日 開催
平成25年8月19日 開催
平成25年8月27日 開催

委員会の活動

東日本大震災災害復興
北郷 幹夫議員が選出

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
東日本大震災災害復興
に関する特別委員会

早 い町営住宅の修繕を 帰町促進を図るための取り組み

7月に集計・公表された町営住宅の室内現況調査結果は対象戸数184戸、調査済戸数172戸、要修繕戸数は80%の138戸でした。

耐震の問題と老朽化が著しかったことから解体を検討しているとの報告がありました。



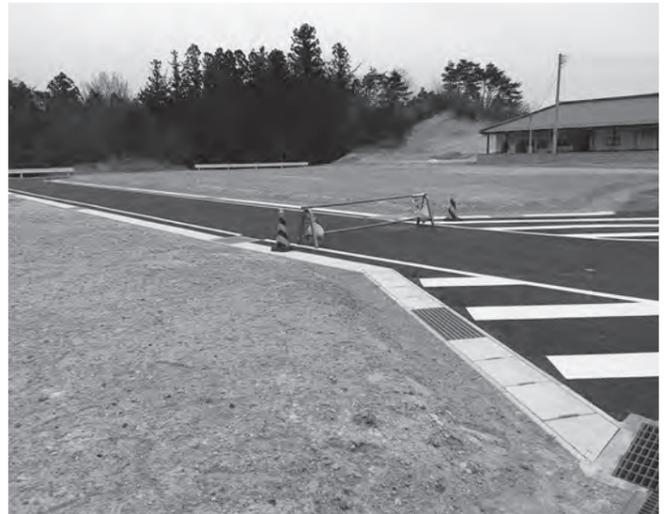
修繕が予定される町営住宅

海 岸堤防の有効活用へ 浅見海岸堤防背後地に係る土地利用

浅見海岸に設置される堤防の背後地（堤防と広野・小高線の間）を防風林にする予定について、土地の高さ、浄化センターとの兼ね合いはどうか。購入する土地に何を植栽するのか。窪地にならないかなどの指摘があったことをふまえ、本事業が所期の目的を達成することを提言しました。



3年ぶりに本格的なコメの出荷へ



再募集が行われている苗代替宅地

町 民の希望につながる遺跡保存を 桜田IV遺跡の概要

これまでの調査経緯と成果の説明から今後の検討課題として、駅家が設置された古代官道の位置が未確認であることなどによりこれまでの発掘調査だけでは駅家と推定するには判断材料が少なく慎重に期すべきとの説明がありました。

公 平な支援制度を （仮称）広野町津波被災者等住宅再建支援制度の創設

福島県市町村復興支援交付金のなかに「津波被災住宅再建事業分」が確定し、本町の被災者が新たに住宅再建する際の支援制度を創設するものであるとのことでした。

安 全安心な米として出荷できるように 平成25年産米の作付け

平成25年産米作付け状況は、111ha／101戸 5品種であったことや広野町管理計画に基づく交差汚染防止対策として、のみすり作業時に、とも洗を実施することなど説明がありました。

- ※1 交差汚染 放射性物質に汚染されたもみすり機などを使用して米が汚染されること
- ※2 とも洗い 籾米をもみすり機の内部で循環させながら機内を清掃すること